

第 49 回 日本クラブユースサッカー選手権 (U-18) 大会 大 会 要 項

- 1 主 旨 公益財団法人日本サッカー協会及び一般財団法人日本クラブユースサッカー連盟は、日本の将来を担うユース年代選手のサッカー技術の向上と健全な心身の育成を図るとともに、クラブチームの普及と発展を目的とし、連盟第 2 種加盟登録チームの全てが参加できる大会として実施する。
- 2 名 称 第 49 回 日本クラブユースサッカー選手権 (U-18) 大会
- 3 主 催 公益財団法人日本サッカー協会、一般財団法人日本クラブユースサッカー連盟
- 4 主 管 関東クラブユースサッカー連盟、公益社団法人群馬県サッカー協会
一般社団法人神奈川県サッカー協会、一般社団法人横浜サッカー協会
関西クラブユースサッカー連盟
中国クラブユースサッカー連盟、一般社団法人山口県サッカー協会、
公益財団法人広島県サッカー協会
九州クラブユースサッカー連盟、一般社団法人宮崎県サッカー協会
- 5 協 力 一般社団法人大阪府サッカー協会、一般社団法人兵庫県サッカー協会
- 6 後 援 スポーツ庁、公益社団法人日本プロサッカーリーグ
群馬県、群馬県教育委員会、前橋市、前橋市教育委員会
公益財団法人前橋市まちづくり公社、公益財団法人前橋観光コンベンション協会
山口県、山口市、山口市教育委員会、一般財団法人山口観光コンベンション協会
- 7 協 賛 キリンホールディングス株式会社、アディダスジャパン株式会社
株式会社モルテン
- 8 メディアパートナー 株式会社グリーンカード
- 9 期 日 2025 年 7 月 22 日～7 月 31 日
7 月 22 日(火) グループステージ第 1 日
7 月 23 日(水) グループステージ第 2 日
7 月 24 日(木) 休息日
7 月 25 日(金) グループステージ第 3 日
7 月 26 日(土) 準々決勝
7 月 27 日(日) 移動日
7 月 28 日(月) 休息日
7 月 29 日(火) 準決勝
7 月 30 日(水) 休息日
7 月 31 日(木) 決 勝
- 10 会 場 グループステージ～準々決勝まで地域開催
(関東) バニーズ群馬宮城総合運動場、大野工業大胡総合運動公園、群馬県立敷島公園補助陸上競技場、玉村町北部公園サッカー場 (以上、群馬県)
(関西) J-GREEN 堺 S1、ヤンマースタジアム長居、ヤンマーフィールド長居、万博記念競技場 (以上、大阪府)、ユニバー記念競技場 (兵庫県)

(中国) 維新みらいふスタジアム、山口きらら博記念公園サッカー・ラグビー場
(以上、山口県)、みよし運動公園陸上競技場、福山通運ローズスタジア (福山市竹ヶ端運動公園陸上競技場) (以上、広島県)
(九州) アミノバイタルトレーニングセンター サッカー・ラグビー場、アミノバイタルトレーニングセンター多目的グラウンド、KUROKIRI STADIUM (宮崎県山之口陸上競技場)、日南運動公園陸上競技場 (以上、宮崎県)

準決勝・決勝

ニッパツ三ツ沢球技場、三ツ沢公園陸上競技場 (神奈川県)

11 出場チーム

全国 9 地域の代表 32 チーム

北海道 (1) 東北 (3) 関東 (11) 北信越 (2) 東海 (3)
関西 (4) 中国 (2) 四国 (1) 九州 (5)

※地域加盟登録クラブ数が 2 に満たない地域は関東第 12 代表とプレーオフを行う。

12 出場資格

日本サッカー協会に第 2 種もしくは準加盟登録し、なお且つ日本クラブユースサッカー連盟に 2025 年 5 月 9 日までに加盟登録したチームであること。

1) 出場選手は他のクラブチーム及び高等学校サッカー部などに二重登録されていないこと。

2) 2007 (平成 18) 年 4 月 2 日以降の出生者を対象とする。

3) 出場チームは、15 名以上の選手でチーム構成され、うち 7 名以上は日本サッカー協会第 2 種加盟登録選手であり、なお且つ 2007 年 4 月 2 日から 2010 年 4 月 1 日までの出生者を対象とする。(5 名以上は試合出場していること)

4) 出場チームの同一下部組織第 3 種 (日本サッカー協会クラブ申請済みクラブ) なお且つ日本クラブユースサッカー連盟に 2025 年 5 月 9 日までに加盟登録したクラブ) 登録選手に限り、種別変更 (移籍) せず第 3 種登録選手のままでの出場を認める。但し、同一下部組織第 3 種登録チームを複数所有しているチームの選手登用は、いずれかの 1 チームからに限定するものとする。

5) 各チームの登録選手は、原則として JFA 発行の選手証を持参しなければならない。ただし、写真貼付により、顔の認識ができるものであること。

※選手証とは、JFA の WEB 登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したものを原則とする。

6) 予選から本大会に至るまでに、一つのチームで大会メンバー登録した選手は、異なるチームへ移籍後再び大会メンバー登録することはできない。なお都道府県内の大会で予選名が付されていない場合であっても、その大会が実質的に予選を兼ねている場合はその大会は予選と同じ扱いとなり上記を適用する。

13 表彰

優勝チームには優勝杯 (日本サッカー協会杯・日本クラブユースサッカー連盟杯) を授与する。優勝杯は持ち回りとし、翌年の大会で返還する。

優勝以下第 3 位までに表彰状並びにメダルを授与する。

14 個人賞

本大会において最優秀選手、優秀選手、最多得点を挙げた選手を表彰する。

15 フェアプレー賞

本大会において、フェアプレー精神の育成・向上のために選考基準に従いフェアプレー賞を選考する。フェアプレー賞はチーム単位とし、ベスト 4 に進出したチームの中から選考する。表彰はトロフィー及び副賞を授与する。

第 49 回 日本クラブユースサッカー選手権 (U-18) 大会 大 会 規 程

■競 技 方 法

- (1) 32 チームを A～H までの 8 グループに分けグループステージを行い、各グループ上位 1 チームがノックアウトステージに進出する。
- (2) ルールは日本サッカー協会発行「サッカー競技規則 2025/26」による。
- (3) 試合時間はグループステージを 70 分（ハーフタイムは 10 分）、ノックアウトステージを 80 分（ハーフタイムは 15 分）とし、グループステージにおいては競技時間内に勝敗が決定しない場合は引き分けとする。但し、準々決勝、準決勝においては競技時間内に勝敗が決定しない場合は、PK 戦により勝敗を決定する。決勝においては 5 分間の休憩後 20 分の延長戦を行い、なお決定しない場合は PK 戦により勝敗を決定する。
- (4) 各グループのリーグ戦の順位決定は以下のとおりとする。
 - ①：勝点は、勝利＝3 点 引分＝1 点 敗戦＝0 点とし、勝点の多い方を上位とする。
 - ②：勝点と同じ場合は得失点差の多い方を上位とする。
 - ③：得失点差が同じ場合は得点の多い方を上位とする。
 - ④：③で得点も同じ場合は当該チーム同士の対戦結果にて決定するが、なお引分けの場合は抽選とする。（予備抽選・本抽選を行う。予備抽選はグループリーグ星取表上段から先に引く。）
- (5) ノックアウトステージ進出チーム
 - イ 各グループ 1 位の計 8 チームがノックアウトステージに進出する。
 - ロ 3 位決定戦は行わず、準決勝で敗退した両チームを 3 位とする。
- (6) 警告・退場
 - イ 本大会の予選は懲罰規程上の同一競技会とみなし、予選終了時点で退場による未消化の出場停止処分は本大会において順次消化する。
 - ロ 大会期間中に警告を 2 回受けた選手等は次の 1 試合に出場できない。
 - ハ グループステージから準々決勝における警告処分は、準決勝へは持ち越さないものとする。但しグループステージから準々決勝における出場停止処分が未消化の場合は、準決勝に持ち越され適用される。
例) 準々決勝に 2 回目の警告を受けた選手等は、準決勝には出場できない。
 - ニ 本大会において退場を命じられた選手等は、自動的に次の 1 試合に出場できず、それ以降の処置については大会規律委員会において決定する。
- (7) メンバー提出用紙は、試合開始 60 分前までに会場本部（該当ピッチ）へ 1 枚提出する。試合毎の登録は交代選手を含め 20 名までとし、うち 5 名までの交代を認める。ノックアウトステージにおいて延長戦に入った場合は、1 名交代選手の追加を認める。但し、PK 戦での適用は認めない。なお、各試合の提出後試合開始までの時間に、怪我など特別な理由により登録されたメンバーが当該試合へ出場することが不可能であると当該試合競技責任者が判断した場合のみ、登録内容を変更することが出来る。
- (8) 選手の用具・ユニフォームチェックについて
 - ①ユニフォームは、日本サッカー協会『ユニフォーム規程』に則る。
 - ②本競技会に登録した正・副 2 組のユニフォーム（シャツ、ショーツ及びソックス）を試合会場に持参し、いずれかを着用しなければならない。
 - ③正・副の 2 色については明確に異なる色とする。

- ④ユニフォームチェックは、グループステージ、ノックアウトステージ共、試合開始 70 分前に会場本部（該当ピッチ）に於いて行なう。
- ⑤主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。
- ⑥前項の場合、主審は、両チームの各 2 組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツ及びソックスの それぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。
- ⑦ユニフォームの前面・背面には大会エントリー時に登録された選手固有の番号を付けること（GK を含む）。また、ショーツの番号については付ける事が望ましい。なおユニフォームの色・選手番号の大会エントリー以降の変更は認めない。
- ⑧ソックスの上にテープを巻く場合、そのテープ等の色はソックスの色と同じものに限る。
- ⑨アームバンドについては JCY が認めたものは使用可とする。表示は C とメーカーロゴ（50cm²以下）は認める。
- ⑩J クラブ傘下のチームについては、公益社団法人日本プロサッカーリーグ（J リーグ）のユニフォーム要項に認められたユニフォームであれば使用を認められる。ただし、J リーグ傘下クラブについてもシャツの前面・背面に大会エントリー時に登録された選手固有の番号を付けること（GK を含む）。また、アルコール等、未成年チームにふさわしくない広告は認められない。
- （9）ユニフォームに表示する広告は、日本サッカー協会『ユニフォーム規程』に則る。
- （10）各チームの登録選手について、写真付き選手証の不携帯若しくは選手証に写真を貼っていない場合は、出場を認めない。
- ※選手証とは、本協会 WEB 登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したものを原則とする。
- （11）参加資格の違反、不都合な行為があった場合の処置については、大会規律・フェアプレー委員会にて決定する。
- （12）選手の登録は、15 名以上 30 名以内とし、エントリー締切り（6 月 11 日（水）13:00）以降の選手、スタッフの追加、変更は認めない。なお、スタッフ登録数の制限は設けない。
- （13）選手交代回数の制限について
- ①試合中の選手交代回数は 3 回までとする。（1 回に複数人を交代することは可能）
 - ②ハーフタイム、延長戦に入る前のインターバルでの選手交代は、交代回数に含まれない。
 - ③試合中に使わなかった交代、また、残りの交代回数は延長戦に繰り越す。
- （14）脳震盪による交代（再出場なし）について
- ① 脳振盪またはその疑いのある選手の交代（以下「脳振盪交代」という）は、通常交代に含まれない。
 - ② 脳振盪交代は、通常交代と判別できる、別途指定する手続きで行われなければならない。
 - ③ 脳振盪交代と通常交代を同時に行った場合、通常交代および脳振盪交代の交代回数をそれぞれ 1 回としてカウントするものとする。
 - ④ 脳振盪交代をした場合、相手チームは通常交代とは別に、1 名 1 回の交代を追加で得ることができる（以下、本号に基づく交代を「追加交代」という）。ただし、追加交代と通常交代を同時に行った場合、通常交代および追加交代の交代回数をそれぞれ 1 回としてカウントするものとする。
 - ⑤ 1 試合における各チームの脳振盪交代および追加交代の交代人数は、それぞれ 1 名とする。

(15) 暑熱対策について

- イ) グループステージ、ノックアウトステージとも、試合開始 10 分前の測定で、WBGT31℃以上の場合、試合を行わず中止とする場合がある。中止とする場合、グループステージでは引き分けとし、ノックアウトステージにおいては抽選で次に進むチームを決定する。なお、中止とせずに試合を実施する場合は、JFA の熱中症対策 (Cooling Break) を行った上で、実施する。
- ロ) 決勝において、前後半終了時に同点の場合、延長戦前の測定で WBGT31℃以上の場合、延長戦は行わず PK 戦を行う。

(16) 雷・荒天等不可抗力による中断・中止について

原則として試合再開を検討する。＊試合再開は中断時からの再開とし、選手は中断時の選手とする。

前半途中で中断の場合は (イ) を適用する。ハーフタイム又は後半途中で中断の場合は (ロ) を適用する。

- イ) 当該試合が前半途中で中断し、その後試合再開が不可能 (中止) な場合 (前半が終了していない) は次のとおりとする。
 - 1) グループステージでは 0-0 の引き分けとし両チームに勝ち点 1 を与える。
 - 2) グループステージにおいて、勝ち点が並んだ場合は、不成立で得た勝ち点 1 は考慮しない (勝ち点 1 をマイナスする)。
 - 3) ノックアウトステージでは中止時点のスコアで勝敗を決定する。なお、同点の場合は抽選とする。
- ロ) 当該試合が後半途中で中断し、その後試合再開が不可能 (中止) な場合は、グループステージ、ノックアウトステージともにその時点の得点で試合成立とする。なお、ノックアウトステージにおいて、同点の場合は抽選とする。
- ハ) 決勝において、前後半が終了し、同点の場合で延長戦を行うことが不可能な場合は、PK 戦を行う。なお、PK 戦も不可能な場合は両チーム同時優勝とする。準決勝において同点の場合は PK 戦を行う。PK 戦が不可能な場合は抽選とする。

※ (15) (16) に記載の抽選は以下の通り行う。

(予備抽選・本抽選を行う。予備抽選は本部からグラウンドに向かって左側ベンチチームから先に引く。)

(17) その他

- イ) 試合球はアディダス社製「コネクト 2 5 プロ ADF500」とする。
- ロ) チームベンチへの入場は、事前に登録されたスタッフ・選手の中からスタッフ 5 名以内、選手 20 名以内とする。
- ハ) チームベンチは、会場本部席からグラウンドに向かって左側ベンチをプログラム【競技日程】の左側に表記されているチームのベンチとし、対戦チームを右側とする。
- ニ) 登録選手は、必ず全員が傷害保険に加入していること。
- ホ) 試合会場での応急処置は主催者側で行うが、それ以降はチームにて処置すること。
- ヘ) 大会要項に規定されていない事項については大会実施委員会において協議の上決定する。
- ト) 本大会参加チームは原則として大会実施委員会で指定した宿に宿泊すること。

(18) 参加費

大会参加費 50,000 円 (消費税込み) を指定した期日までに振込むこと。

(19) 組合せ

大会実施委員会が代理で公開抽選にて決定する。

(20) 書類提出期限

チーム紹介・チーム写真・アンケート等の提出物は、6月11日（水）13：00までに下記事務局宛て提出のこと。

(21) 監督会議

本大会に出場するチームは、6月18日（水）監督会議予定（※Web会議）に出席すること。

※書類提出期限までに地域予選が終了していない地域は、本大会への出場の可能性があるすべてのチームが書類を提出のこと。